

# Weekly report

MINKABU  
THE INFONOID

株式会社ミンカブ・ジ・インフォノイド  
東京都千代田区神田神保町3-29-1

## 今週の注目材料 = 豪中銀は金利据え置きへ

2019年11月4日

今週5日12時半に豪中銀金融政策理事会の結果が発表されます。豪中銀は今年の6月、7月の理事会で連続利下げを行った後、8月、9月と据え置きに回り、10月1日の理事会で今年3度目の利下げを実施。現在の豪州の政策金利は同国にとつて史上最低水準を更新する0.75%となっています。

前回の理事会での声明では、労働市場を含む経済動向を引き続き注視し、経済の持続的な成長に必要なとあれば、さらなる緩和を行う用意があると、追加緩和の可能性を示しました。この声明内容もあって、市場では今月5日の理事会での金利決定に対する見方が当初交錯し、短期金利市場動向から見た利下げ確率が50%を超える場面なども見られました。

しかし、17日に発表された9月の豪雇用統計で雰囲気は一変します。この時の雇用統計。雇用者数全体では予想の前月比+1.50万人に対して、+1.47万人とほぼ同水準。前値が+3.47万人から+3.79万人に修正も、そこまで強いという水準ではありません。しかし、その内訳は正規雇用が8月の前月比-1.55万人から+2.62万人へと一気に伸びており、非正規雇用のマイナス分を打ち消して、予想前後の数字となったもの。8月分が5.3%と1年ぶりの高水準となった失業率も5.2%と0.1%ポイントだけですが改善しました。

金融政策理事会の声明でも労働市場に言及しているように、今後の金融政策動向のカギを握っているとみられる豪雇用市場が底堅さを見せたことで、利下げ見通しが一気に後退。直近では金利据え置き見通しが94%と、ほぼ据え置きを織り込む動きとなっています。

将来的にみても、利下げ見通しが据え置き見通しを上回る（確率が50%を超える）のは、来年5月以降。その後来年末までみても確率は56%台が最高と、当面の据え置き期待がかなり強くなっているのがわかります。

30日には政策金利動向に影響を与えるもう一つの大きな指標である消費者物価指数(CPI・第3四半期)が発表されました。

前期比+0.5%と予想通りながら第2四半期の前期比+0.6%から鈍化。全体の前年比は+1.7%と予想通りながら前期を上回りましたが、加重平均での前年比が予想を下回り、金融政策決定で重視されているといわれる基調インフレ率(加重平均と刈込平均の中央値)は、前回の前年比+1.45%から+1.4%に若干鈍化しています。

もっとも、こちらの数字を受けても据え置き見通しに大きな変化はありませんでした。労働市場の堅調地合いに対する好感が、CPIのややさえない状況を払しょくした形です。

こうした状況から、今回の理事会での据え置きはほぼ確実視されています。注目は声明内容で、前回見られた追加緩和への姿勢に対する表現が変わってくるようだ、豪ドルの買いが入る可能性があります。前回同様に追加緩和の可能性を示しつつも、雇用の先行きなどへの慎重な姿勢に変化があるようだ、こちらも豪ドル買いにつながりそうです。

そのほか、7日21時には英中銀の金融政策会合(MPC)結果発表が予定されています。今回は会合結果、議事録に加えて四半期インフレ報告が発表され、カーニー総裁が会見を行

うスーパーサズデーにあたっています。

もっとも12月12日にブレグジットの行方を占う重要な総選挙を控える中で、今回のMPCで政策変更の余地はほとんどないと思われます。カーニー総裁の会見では、合意による穏やかなEU離脱が実現した際に、今後利上げの余地が出てくるのかが注目されることに。

先月総裁はメディアでのインタビューで今後の不確実性について言及し、利上げについて消極的な見方を示しました。もっとも、直近の指標で消費者物価指数(CPI)のコア前年比が上昇するなど、英経済は比較的堅調なだけに、ある程度楽観的な姿勢を示している可能性はあります。来年1月末のカーニー総裁の任期満了までの金利変更はまずないという見方が強いですが、この見方に変化が出るようだと、ポンドの動きが出そうです。

#### 山岡和雅 | minkabu PRESS編集部

1992年チェースマンハッタン銀行入行。1994年ロイヤルバンクオブスコットランド銀行（旧ナショナルウェストミンスター銀行）移籍。10年以上インターバンクディーラーとして活躍した後GCIグループに参画。2016年3月よりみんかぶ（現ミンカブ・ジ・インフォノイド）グループに入り、現在、minkabu PRESS編集部外国為替情報担当編集長。（社）日本証券アナリスト協会検定会員 主な著書に「初めての人のFX 基礎知識&儲けのルール」すばる舎、「夜17分で、毎日1万円儲けるFX」明日香出版社など

---

#### <免責事項>

本レポートは情報の提供のみを目的としています。投資に関する最終判断はご自身の責任においておこなわれるようお願いいたします。また本レポートに掲載している情報の正確性については伴線を期しておりますが、人為的、機械的その他何らかの理由により誤りがある可能性があり、株式会社ミンカブ・ジ・インフォノイドは、利用者がこれらの情報を用いて行う判断の一切について責任を負うものではありません。また、株式会社ミンカブ・ジ・インフォノイドが提供するすべての情報について、許可なく転用・転載等することを固く禁じます。

#### <著作権について>

本レポートの著作権は、原則として当社(株式会社ミンカブ・ジ・インフォノイド)が保有しており、著作権法、その他の法律および条約により保護されています。本レポートご利用のお客様は、私的使用目的の複製、引用等著作権法上認められている範囲を除き、当社およびその他著作権者の許諾なく、これらの著作物を翻案、公衆送信、営利を目的とする使用等いかなる目的、態様においても利用することはできません。